

名古屋市立病院改革推進プラン(案)に対する 市民意見の内容及び市の考え方

「名古屋市立病院改革推進プラン(案)」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様方からいただきましたご意見と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見については、原文を一部要約または分割して掲載していますので、ご了承ください。

1 実施期間

平成26年1月15日(水)から平成26年2月14日(金)まで

2 提出状況

- (1) 提出者数 1人
- (2) 意見総数 3件
- (3) 提出方法 電子メール 1人

3 意見の内訳

- (1) 名古屋市立病院改革推進プラン全般について 1件
- (2) 市立病院の果たすべき役割について 1件
- (3) 計画の進行管理について 1件

平成26年3月

名古屋市病院局

寄せられたご意見と本市の考え方

1 名古屋市立病院改革推進プラン全般について

【市民意見】

医療・治療は、最後のところで人間の関わりです。医師と看護師の過酷な勤務には日ごろから心を痛めています。「患者と職員の笑顔」という理念が実現されるためには、職員の安定した雇用（離職が少なく継続して働く勤務条件）が大切です。入院・外来の患者を増やすならば、給与比率を確保することが必要です。一般会計からの補助も「市民みんなの病院」ならば当然、必要です。しかし保険適用外の「最先端治療」のための補填では、納得できないものです。

【市の考え方】

理念を実現するためには、「医療従事者に選ばれる病院」になることが重要と考えており、医師（研修医）・看護職員の確保、育成等に取り組むとともに、働きたくなる職場づくり等に努めてまいります。

併せて、「経営の健全化」にも取り組んでいく必要がありますので、総務省が示す基準の範囲内で適切に一般会計から補助金等を求めつつ、効率的・効果的な病院運営を行っていく必要があると考えております。

また、陽子線治療につきましては、生活の質（QOL）に優れたがん治療であり、高齢化の進展に伴いがんを患う市民の増加が推測される中、この治療を提供する意義は大きいと考えております。治療に加え、医学的な価値の検証や治療成績を発信することで陽子線治療の確立にも取り組んでまいります。

2 市立病院の果たすべき役割について

【市民意見】

「プラン（案）」では、より多くの患者を受け入れること、診療単価の高い病気の治療に特化する方向が見られます。「市民が気軽に行ける病院」から「救急車で運び込まれる病院」へと変えていくのでしょうか。そうであれば、「病気予防」や「健康管理」など日常的でベーシックな医療への責任は果たされるだろうかと心配します。

【市の考え方】

急性期の医療を担う市立病院が、その医療機能を十分に発揮した医療を提供するため、「かかりつけ医」を始めとする地域の医療機関との適切な機能分担と連携を強化することで、地域の医療ニーズへのよりの確な対応に努めてまいります。

3 計画の進行管理について

【市民意見】

改革の成果を「数値」で表現することにも、無理を感じます。医療を数値化すれば、数値が一人歩きして、治療からゆとりが失われます。患者の社会的な背景にも留意していく仕組みの充実を求めます。

【市の考え方】

計画の進行管理は、成果指標として目標数値を設定した事項についての達成度を評価するとともに、数値目標を持たない取り組み内容を含め、各年度における総括的な評価を行うこととしております。

名古屋市病院局管理部経営企画室
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1 番1 号
電話番号：052-972-3348
ファックス番号：052-972-3381
電子メールアドレス：a3348@byoin.city.nagoya.lg.jp

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を利用しています。